

いわき短期大学アセスメント・ポリシー

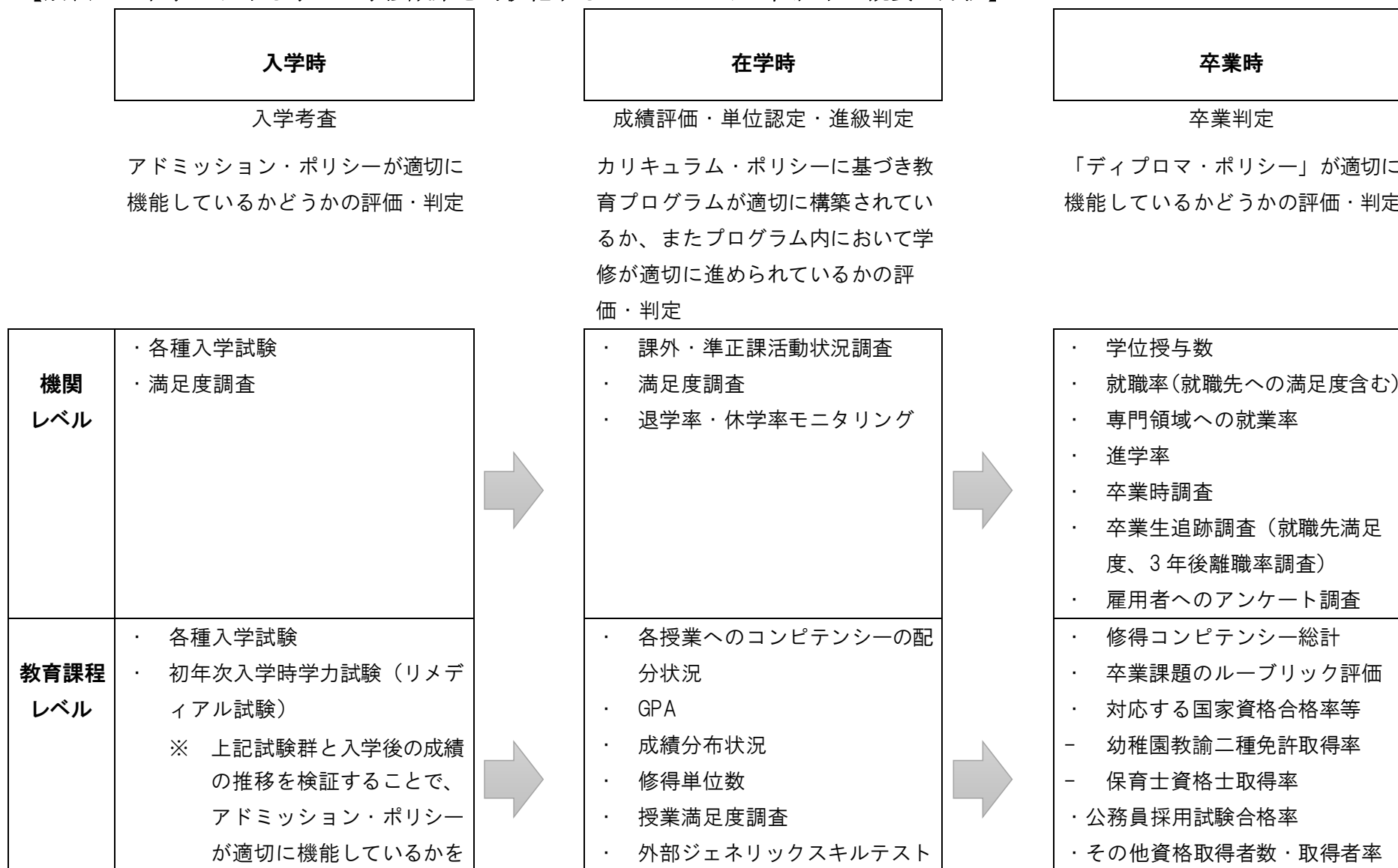
いわき短期大学では、本学の教育課程が、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーの3つのポリシーに基づき、適切に運用されることで、入学し卒業していく学生の将来の可能性を拓げるものになっているか、また地域の将来に貢献するものとなっているかを不断に検証し、その改善のPDCAサイクルを進めるために、機関レベル（いわき短期大学全体）・教育課程レベル（学科）・科目レベル（個々の授業）のそれぞれにおいて、学生の学修成果を可視化し、本学の教育活動が適切に機能しているかを測定・評価するアセスメントのための仕組みを設けています。

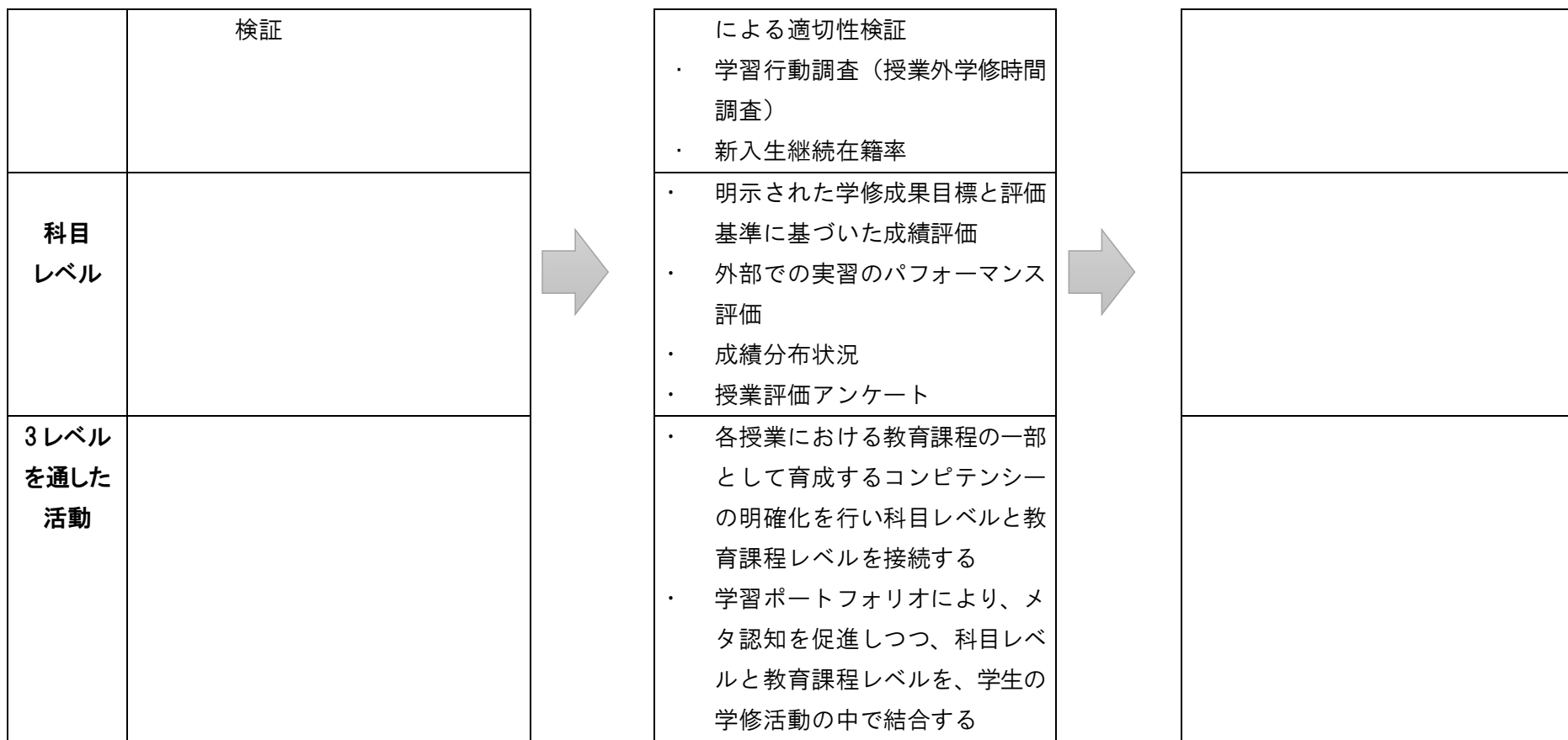
本学のアセスメントについては、以下を原則としています。

- ・ それぞれのレベルにおいて、検証を行うこと
- ・ さまざまな直接評価・間接評価を適切に組み合わせ、多面的に評価すること
- ・ 非認知的能力についても適切に評価を行うこと
- ・ 多様な学生に対応できる評価を実施すること
- ・ 学生のメタ認知を促進するといった、評価の形成的側面を組み込んだ評価を行うこと
- ・ 以上の評価が適切に行えるように、学修の到達目標と評価方法、学修活動が対応する接続（アラインメント）を行うこと
- ・ それらの妥当性について常に検証・改良を進めるPDCAサイクルを各レベルで回すこと
- ・ PDCAサイクルを適切に回せているか、多様なステークホルダーの要請を満たしているか、外部の視点により検証を行うこと

これらを実現するために、別表1に示すかたちでアセスメント・プロセスの実装を行い、別表2に示す形でその検証・改良を行っていきます。

【別表1 本学における学生の学修成果を可視化するアセスメントの仕組みの概要と方法】





【別表2 アセスメントの過程を適切に稼働させるための定期的検証・評価（アセスメント）の仕組み】

■ 定期的検証の仕組み

以下にミクロレベルから、メゾレベル、マクロレベルへの各段階に準じた検証の担当組織を示す。

・ 教務委員会による科目レベルと教育課程レベルの接続を中心としたアセスメント

教育課程レベルで要請されているものが、科目レベルで適切に実装・運用されているか、シラバスチェック、成績分布、FD研修等を通して検証・評価し、改善する。

・ 教授会による教育課程レベルを中心としたアセスメント

主に、教育課程レベルにおいて3つのポリシーが適切に実装・運用されているかを検証・評価し、改善する。

・ 運営会議による機関レベルを中心としたアセスメント（活動状況の実施・モニタ）

主に機関レベルとそのレベルに接続する教育課程レベルにおいて、3つのポリシーが適切に実装・運用されているかを検証・評価し、改善する。

・ 自己点検・評価委員会による中・長期的アセスメント（達成度の客観的調査）

中期的・長期的な視点から、機関レベルの活動において3つのポリシーが適切に運用・改善され、PDCAサイクルが回っているかを記録・検証し、各レベルに必要なフィードバックを行う。

・ 外部評価委員会におけるアセスメント

各レベルとそのPDCAサイクルが適切に機能しているか、また地域の多様なステークホルダーの要請と合致しているかを検証・評価し、各レベルに必要なフィードバックを行う。